

学校関係者評価（保護者アンケート）の評価集計報告

北海道大谷室蘭高等学校
学校評価委員会

本校では、平成20年度より「学校評価に関する規定」に基づき、学校評価委員会を設置し、教育活動等の成果を検証し、生徒がより良い教育活動等を楽しめるよう学校運営の改善と発展を目指し、学校評価（自己評価、学校関係者評価）を実施することになりました。今年度は、初めての取り組みとしてスタディーサプリの連絡機能を使い、令和7年1月27日付で保護者の皆様にアンケート調査という形でご協力をお願いし、令和7年2月2日までに提出していただいた内容の評価集計をご報告いたします。今年度も、多くの皆様から貴重なご意見をいただきましたので、今後、関係分掌や教科等で検討しながら来年度の教育活動に反映させていきたいと考えております。アンケートにご協力いただきました保護者の皆様、誠にありがとうございました。

① アンケート調査方法

本校の教育活動や学校運営に関する質問事項16項目に対して、4段階（4～1）の中から選ぶ回答方式で実施。ただし、学年・男女別は必ず記入、名前は任意記入。

② アンケート実施期間及び回収期間

令和7年1月27日～令和7年2月2日（7日間）

③ アンケート回収状況及び回答別数

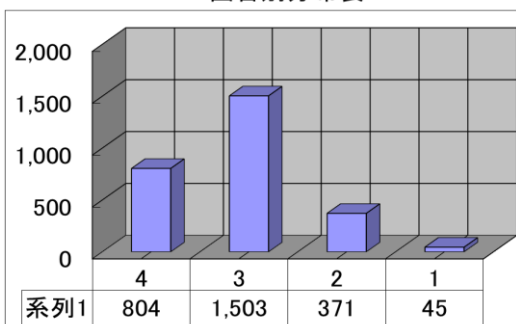
1年生 77通（58.8%） 2年生 49通（42.2%） 3年生 46通（35.1%） **全体 172通（45.7%）**

【各項目の各回答集計結果（全学年）】

※評価基準 回答4＝よく当てはまる 回答3＝やや当てはまる 回答2＝あまり当てはまらない 回答1＝全く当てはまらない

NO	評価項目	4	3	2	1
1	お子さんの様子などから、本校への入学について満足している。	81	75	14	1
2	建学の精神を理解し、教育スローガンに基づいた教育活動が実践されている。	44	108	19	0
3	学級・学年通信、PTA広報誌などは学校の様子を知る上で役立っている。	77	78	15	1
4	学校は保護者の願いや声に応えた教育を積極的に実践している。	36	103	28	3
5	一人ひとりを大切に、わかりやすく、興味・関心の持てる授業が展開されている。	31	107	26	5
6	コースや系に応じた授業（習熟度授業含む）と個々の学力を伸ばす授業が展開されている。	31	102	30	3
7	お子さんの学習状況や評価（評価方法含む）がわかりやすく説明されている。	34	104	28	4
8	学校はお子さんたちに基本的な生活習慣を身に付けさせるための指導を実践している。	40	107	21	3
9	学習、生活について家庭と学校（担任・顧問）の連携が図られている。	60	86	22	2
10	制服を正しく着用し、頭髪などきめ細かい指導が行われている。	44	88	33	6
11	学校行事は子どもたちにとって充実したものが行われている。	67	83	20	1
12	事故や問題などが起きた場合の保護者への説明、対応が的確に行われている。	86	77	6	2
13	3年間を見通した組織的、計画的な進路指導が行われている。	47	95	20	8
14	進路に関する情報提供が、迅速かつ適切に行われている。	38	101	30	1
15	進路講習や個人面談など、個に応じた指導が行われている。	40	94	33	4
16	PTA活動について、十分な情報が伝えられている。	48	95	26	1
		804	1503	371	45

回答別分布表



【各項目の各回答集計結果（学年別）】

評価基準 学年 項目	4			3			2			1		
	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
1	36	23	22	37	21	17	3	5	6	0	0	1
2	15	17	12	54	29	25	7	3	9	0	0	0
3	30	32	15	34	16	28	11	1	3	1	0	0
4	15	15	6	48	27	28	11	7	10	1	0	2
5	13	10	8	50	31	26	7	8	11	4	0	1
6	13	9	9	48	31	23	9	9	12	2	0	1
7	15	8	11	49	33	22	9	8	11	2	0	2
8	17	12	11	49	33	25	9	3	9	1	1	1
9	22	20	18	45	25	16	7	4	11	1	0	1
10	19	16	9	40	27	21	16	5	12	1	1	4
11	35	16	16	34	30	19	6	3	11	1	0	0
12	37	29	20	35	20	22	3	0	3	1	0	1
13	20	15	12	42	31	22	10	2	8	4	0	4
14	16	11	11	49	34	18	11	4	15	0	0	1
15	14	14	12	45	30	19	17	4	12	0	1	3
16	17	14	17	45	31	19	13	3	10	1	0	0
計	334	261	209	704	449	350	149	69	153	20	3	22

【回答への取組みついて】

建学の精神及び教務(授業・学習)について

- ・建学の精神は、本校の教育活動の根幹をなすものであり、常に建学の精神の具現化を目指すものでなければなりません。その為には、教職員が共通認識をもって宗教教育を柱とした教育活動を展開して行くことが何より大切です。今後とも、本校の教育スローガンである「きょうも会えたね あしたも楽しみ」と思える学校作りを目指し、今後とも教育活動に邁進して参ります。
- ・教科内における研修や自己研鑽に努め、教科指導の充実を図ることで、生徒が理解できる授業内容となるよう努めて参ります。そのためにも、一昨年度より導入致しましたスタディーサプリを予復習の教材として活用し、授業中や授業後の確認を行うように視聴を促して参りました。業者より講師を招き、教員向けにフォローアップしており、きめ細かい指導を心掛けるよう今後とも取り組んで参ります。

学習活動について

- ・新型コロナウイルス感染症五類への移行は、学校行事の各種制限を撤廃し正常な学校生活へと向かうと思われましたが、管内の感染症罹患率は高く、本校も例外とならず学級閉鎖措置を取らざる得ない状況となりましたことは記憶に新しいことと思います。感染症や公傷以外の欠席や遅刻などの多さは、のちに出て参ります進級や卒業、進路活動に大きな影響を与えますので、身体に負担のかからないリズム感ある生活に心がけ、家族ぐるみとなった健康管理に努めて下さいますよう教職員とともにお願いしたいと思ひます。
- ・生徒の学習活動に支障がでないよう、カリキュラムの充実と共に体制づくりに今後とも努めて参ります。
- ・一部持ち帰らなくてもよい教材の指定を行っておりますが、家庭学習の推進のため、教科書等の原則持ち帰りを今後とも進めて参ります。

生活指導について

- ・紛失物が出ないように、持ち物への記名や学校生活に必要なものを持ってこないように、指導していきたいと思ひます。万が一、紛失物が出た際には、迅速に対応をしていきたいと思ひます。
- ・規律ある学校生活を通して、地域から支持される学校づくりを進めて参ります。
- ・生徒指導には公平・慎重を期しており、今後とも指導事案の生じた場合には、粘り強く対応して参ります。そして、教職員の生徒指導における言動には慎重かつ適切に対応して参ります。また、全体的には落ち着いた学校生活を送っていると思ひますが、SNSを含めた生徒個人間のトラブルの増加には、担任をはじめとする相談を受ける間口を広く設けたいと思ひます。今後とも大事になる前に相談して欲しいと思ひます。
- ・近年、生徒間そして教職員と生徒保護者間の意思の疎通がしにくい場面（多くは苦情という形）を見受けられるようになりました。決め事を守るようこれからもあらゆる意味での適切な指導と、物事を多面的に捉えられる指導を全学をあげて心がけて参ります。

部活動・寮生活について

- ・寮生活をしている生徒をはじめ自宅通学生や保護者へ、学校の動きに関する情報発信に努めて参ります。
- ・部活動の充実を模索して参ります。（冬季間における体育館割当や他施設の借り受けなど）
- ・学習活動との関わりについて、丁寧な指導を心がけて参ります。（WI-FI の充実がスマホゲーム利用とだ

けられないようにして参ります。スタディサプリの利用促進を図る)

- ・寮の食事は、常に保護者よりお預かりしている食費でのメニュー対応の最大化とともに、早朝における弁当対応等最大限の便宜を図らせています。今後とも、業者と連絡を密に行い、最適化に努めて参ります。

進路指導について

自己（人間性）を育むために、この3年間で、①自分の学びを見つける。②達成感を見つけて学び合い、学び続ける。③自己表現できるようにする。④地域・社会とのつながり（意識）を持つ。以上の点を意識させながら、進路の活動を行っている。一昨年度よりスタディサプりを全生徒に導入してもらい、自学自習が行える環境も整えたことから、リクルートによる到達度テスト（国数英）を年2回行い、各自の到達度や理解度を分析し、学力の定着と向上を図っています。希望進路への取り組みのために、3 学年共通な事項は、進路のLHR設定（年6回）、リクルート到達度テスト（年2回）、夏期・冬期講習、土曜講習、各種検定への取り組み（英検・漢検・数検・情報処理検定・硬筆書写検定など）、適性検査、進路調査である。

1・2年次の全クラス共通事項として、小論文模試（年2回）と進路相談週間（2月）を行っている。

3年次の全クラス共通事項として、クレペリン検査（5月）、小論文模試（5月）、マナー講座（7月）、企業人の話を聞く（7月）、福祉施設へのインターンシップ（7月）を行っている。

また、外部講師による進路ガイダンスを、2年次（2月）と3年次（4・6月）にそれぞれ行い、1・2年次（3月）に大短専70校程度による進路相談会を行うなどして、進路への意識づけを行っている。1月末には、保護者進路説明会（83名参加）を行い、本校の進路概況と状況、奨学金の種類などの説明を行う機会を設け、保護者懇談会も実施し、進路への情報提供に努めている。

その他

- ・PTA広報誌の掲載内容の充実を、これからも図って参ります。

【保護者アンケートに記述があった内容について】

- | | |
|-------------------------------|------------------|
| ・学校から親（寮含む）への連絡や各種情報提供の充実について | ・学校生活について |
| ・各種学校施設設備の充実に向けて | ・部活動について |
| ・充実した高校生活を送れたことへの感謝について | ・教科指導の充実による学力向上を |
| ・担任の先生や部活指導者等への感謝について | ・各指導時の言動について |
| ・進路相談における指導内容について | ・生徒の言動に関することについて |

はじめに、アンケート項目の重複についてお詫び申し上げます。重複していない回答結果につきましては、統一した見解《どちらか一方に回答された方は、回答されたものを採用（3件）、異なる回答の方は、最初の回答を採用（1件）》で、措置しましたことをご報告申し上げます。

保護者の皆さまから各設問の回答と記述でいただいたアンケートに関しましては、私達教職員が真摯に受け止め、それぞれの関係分掌や教科等で吟味検討しながら、新年度の方針に組み込み、日々の教育活動に生かしていきたいと考えております。なお、記述していただいた内容につきましては、全ての教職員で確認しており、上記内容（教務、生徒指導、進路指導他からのコメント）に沿って要望等検討して参りますので、ご理解いただけますようお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の五類相当へのダウンは、世の皮肉かな感染対策を疎かにし、インフルエンザをはじめとする感染症の罹患率を高めてしまいました。健康あつての学習であり、運動であると改めて認識させられた1年となりました。

末尾となりますが、在校生ならびに保護者の皆様には健康に留意され、これからも本校の教育に多大なご理解とご協力を賜りますことを切に願いつつ、アンケートの御礼と致します。

令和7年3月21日

北海道大谷室蘭高等学校
学校評価委員会